

ワークショップ 4

「消化管癌の集学的治療（外科治療を含む）」

司会 渡邊 雅之（がん研有明病院消化器外科）

武藤 学（京都大学大学院医学研究科腫瘍内科学講座）

消化管癌に対する集学的治療は、周術期薬物治療、栄養管理、リハビリ、化学放射線療法、複合がん免疫治療、内視鏡治療、ゲノム医療（CGP 検査、MRD 検査）などの発展とともに、多様化・高度化している。また、術前診断における同一病期の消化管癌に対し、複数の治療選択肢がある場合もあり、外科、内科、放射線科それぞれの立場からそのメリット、デメリットも考慮しつつ患者に治療法を呈示する必要もある。本ワークショップでは、エビデンスに基づく各施設における治療選択のアルゴリズムやチーム医療の実践など、様々な視点での発表を期待する。